平成30年度 第1回 珠洲市入札監視委員会 議事概要

開催日時及び場所	平成30年5月29日(火) 午前9時～10時30分 庁舎3階会議室		
出席委員	委員長 上野 良夫 (監査委員) 出席 乙谷 衛一 (公平委員) 出席 田畠 邦章 (監査委員) 出席 (敬称略 五十音順)		
次第	1 開 会 2 挨 拶 3 議 事 (1) 珠洲市入札契約制度について (2) 審議対象工事の抽出結果の報告 (3) 審議対象工事の審議 (4) その他 4 閉 会		
審議対象期間	平成29年10月1日～平成30年3月31日		
抽出件数	5件		
建設 工事等	一般競争入札	1件	・(仮称) 珠洲市民図書館建設工事(建築)
	指名競争入札	3件	・統合簡易水道事業(折戸・狼煙地区) 水道管路布設替 工事(狼煙4工区) ・統合簡易水道事業(折戸・狼煙地区) 水道管路布設替 工事(狼煙2工区) ・蛸島公民館 耐震診断・耐震補強計画業務
	随意契約	1件	・波の花デイサービスセンター給湯管改修工事
委員からの質問及び それに対する回答等	別紙1の通り		
委員会による意見の 具申内容	具申なし		

別紙 1

質問・意見	回答
<p>・珠洲市入札契約制度について</p> <p>・ 質疑なし</p> <p>・ (仮称) 珠洲市民図書館建設工事 (建築) 【一般競争入札】</p> <p>・ 今回、結果として何者が入札に参加したのか？</p> <p>・ 入札参加資格要件に下請業者を市内業者に限定するような条件にはしていないのか？</p> <p>・ 現在施工中の工事であるが、前金払等で既に施工業者に支払った金額はどのぐらいか？</p> <p>・ 代表者の配置予定技術者は一級建築士又は1級建築施工管理技士の者となっているが、落札業者にはこの技術者は何人ぐらいいるのか？</p> <p>・ 統合簡易水道事業 (折戸・狼煙地区) 水道管路布設替工事 (狼煙4工区) 【指名競争入札】</p>	<p>・ 代表者、構成員ともに概ね10者が入札に参加可能と想定していたが、結果として入札参加申請があったのは1者のみであった。</p> <p>・ 入札参加資格要件にそういった条件は設定していないが、契約時の珠洲市標準請負契約約款には「下請契約の相手方は市内業者に努めなければならない」といったことが明記されている。</p> <p>・ 請負金額の40%以内で前金払を請求できるものであるが、今回は債務負担行為による工事であり、各年度の支払限度額の40%を請求できるものである。既に各年度の前払金の支払いは済んでおり、合計で約3億円を支払い済みである。</p> <p>・ 入札参加申請時に提出いただいた技術者名簿によると、3人いると把握している。</p>

<p>・今回の抽出対象となって工事一覧を見てみると、管工事の落札率が工事によって差が大きいのうだがなぜか？</p> <p>・業者は最低制限価格を求める際に専用のソフトを使って積算しているのか？</p> <p>・統合簡易水道事業（折戸・狼煙地区） 水道管路布設替工事（狼煙 2 工区） 【指名競争入札】</p> <p>・本工事は先の狼煙 4 工区に比べて落札率が低い、工事内容に違いがあるということはあるか？</p> <p>・いわゆるダルマ落としの条件は、狼煙 4 工区、3 工区、2 工区の 3 件に限定したのか？</p> <p>・蛸島公民館 耐震診断・耐震補強計画業務 【指名競争入札】</p> <p>・2 者とも予定価格と同額で応札したということか？</p> <p>・今回の指名業者は本市が発注した業務を履</p>	<p>・今回工事のように最低制限価格未満の応札をしたものが多数出た場合は落札率が高くなると思われる。反対に最低制限価格と同額の応札があった場合は当然落札率が低くなる。</p> <p>・そういったソフトがあり、業者が使用しているという話は聞いたことがある。</p> <p>・違いはなく、同じ様な内容の工事であると思われる。</p> <p>・29 年度に発注された狼煙地区の水道管工事は全部で 8 工区まで分割され発注されたものであるが、同時発注で同日に入札があったものがこの 3 件であり、今回のダルマ落としの条件はこの 3 件に限ったものである。</p> <p>・本業務については予定価格が事前に公表されている。また、耐震診断の関係は他の自治体からも多く発注されており、業者も忙しく、そのことが今回の様に落札率が高止まりしたり、入札辞退が出るといったことにつながっているのではないかと考える。</p> <p>・指名した業者は全て、過去に本市発注業務</p>
---	--

<p>行した実績はあるのか。</p> <p>・今回業務は完了しているが、これに伴う工事はいつ頃発注されるのか？</p> <p>・波の花デイサービスセンター給湯管改修工事</p> <p>【随意契約】</p> <p>・これまでの傾向を見ると、本件は他の管工事にしては落札率が高いように思えるが理由は？</p> <p>・随意契約の理由は何か？</p> <p>・予定価格の積算は誰が行っているのか？</p> <p>・その他</p>	<p>を履行した実績を有している。</p> <p>・今回の耐震診断を踏まえて、改修の必要性等を判断して工事を発注するものと思われるが、発注時期等については把握していない。</p> <p>・水道管工事のように土木工事に近い管工事と、今回の様な建築物の設備に関する管工事との違いが影響しているのかもしれない。</p> <p>・漏水により早急に改修工事が必要となったため、地方自治法施行令の「緊急の必要により競争入札に付することができないとき」により随意契約を行ったものである。</p> <p>・担当課が行っている。国の積算基準や業者からの見積りを参考として設計価格を算出している。</p> <p>・次回において、第6条の抽出委員は、上野委員に決定する。</p>
--	--